

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「美しく安全な国土の管理・継承」にむけた、地域事業者、地域住民、行政、NPO等との連携・協働による『食と農、農地の再生』事業及び賑わいと魅力と持続性ある『ふるさとの風景づくり活動』推進事業
対象地域	上郡町竹万地区
活動概要	<p>土地区画整理事業により新たに都市基盤の整った本地区には、地域内外から様々な事業者、事業者の出店により、沿道型の商業集積が進みつつある。このような中で事業者と消費者(地域住民)との交流も見られつつあるが、この動きは、まだ一部の事業者と地域住民との間のものでしかなく、地域全体の賑わいづくりや魅力づくりへの動きには至っていない。</p> <p>また、地域には多くの農用地が見られ、古からの農村風景も残している。そして、これら農地で生産される農産物の直売所(JA兵庫西「旬彩蔵上郡」、地元経営「あゆみいきいき農産直売所」)もあり、地産地消による農地の再生と農家と消費者との交流促進も始まっている(「あゆみいきいき農産直売所」は、平成18、19年度西播磨「ふるさとの風景づくり」コンクール奨励賞受賞、平成19年度第6回西播磨「出る杭大会」人の輪賞受賞)。しかしその一方で、都市基盤の整備に伴い、耕作放棄地の増加や農地の減少も進み、ふるさとの風景が失われつつある。</p> <p>このような実状の中で、竹万あゆみ協議会は、地域に立地する事業者として、地域の再生と持続的な発展(賑わいづくり、魅力づくり、環境づくり)に貢献するという崇高な理念のもとに、自主的に集い、組成し、取り組みを進めつつあるが、構成員のボランティア精神や会費収入のみの取り組みには限界があるのが事実である。</p> <p>そこで、地域の事業者と地域住民等との連携・協働のもと、一次産業、二次産業、三次産業の融合を図り、これら農地を活用した地産地消や地域の賑わいづくり、魅力づくり、環境づくりを進め、耕作放棄地の増加の抑制によるふるさとの風景の維持保全を図るとともに、地域の環境と経済の循環による自立した持続性のある地域の環境づくりの仕組みを構築することを目標に取り組みを広げていく。</p> <p>また将来的には、都市と農村との交流を通じた土地区画整理事業区域内への都市住民の移住の促進等にも発展させていく足がかりとする。</p>
今年度の主な取組	<p>①「美しく安全な国土の管理・継承に向けた地域内循環事業スキームの構築及び事業計画の策定」 地域の事業者が主たる構成員である竹万あゆみ協議会が中心となって、地域住民や地域のまちづくり協議会、事業者等との連携・協働により、耕作放棄地の解消と農地利活用の推進方策の検討及び地産地消等の地域内循環から地域の賑わいづくり、魅力づくり、環境づくりに繋げるための事業スキームの研究・構築を進めていく。 併せて、地域が主体的かつ持続的に事業を進めるためのコミュニティ・ビジネス(細内信孝氏の研修)の研修・習得も実施する。 そして、「美しく安全な国土の管理・継承」に向けた、持続的なむらづくり、ふるさとの風景づくりを展開するために、これらの取り組みから得られた成果を最大限活用した平成21年度以降の事業計画の立案・策定を進めていく。</p> <p>②「地域の福祉、教育と一体となった農地の利活用によるふるさとの風景の維持保全活動の実践」 事業計画の根幹を成す予定である「農業体験」による地域の福祉団体や小中学校との交流・連携事業(平成20年度は社会実験的に実施)を実施し、耕作放棄地の利活用、ふるさとの風景づくりの実践活動を、地域全体の活動として進めていく。 併せて、本年度の社会実験的的事业の中から得られた問題点・課題等を分析し、今後の継続的・持続的な活動実践に向けた活動実践マニュアルの素案検討を進め、平成21年度以降の事業計画の内容や事業活動にフィードバックできるように努める。 さらに、これらの取り組みで得られた成果を上郡町全体や西播磨地域全体に広げるために、上郡町や兵庫県とも連携して、同様の課題を抱える周辺農村地域との交流・連携・ネットワーク化を図るための活動(会議・交流イベントの開催等)を進めていく。</p>

活動結果	<p>コミュニティビジネス研修の実施では、地元農業者と地元料理教室の女性グループとの連携が実現し、自主的に率先して事業計画の推進を図る動きが出るなど、コミュニティビジネスの実践及び新たな人的ネットワークの構築に有効であった。</p> <p>また、農業体験事業では、都市住民と地域住民による農作業、意見交換の実施により、今後の継続的な交流による地域の環境保全、農業・農地の維持活動が行われることが期待できた。結果として、農産物オーナー制度による地域外利用者への農地解放が新たに3箇所実施されるなど課題の解決に向けて有効な取組となった。</p>
当初予想していなかった効果	<p>事業実施による交流の活発化の影響で、地域の自治会活動以外での公民館の利用が増えた(以前はほぼ0回/月だったが、事業実施後は2回/月に増加)ことにより自治会収入が増加し、自治会活動の拡充などへ繋がるのが期待できる。</p> <p>また、地域の農産物直売所では、これまで固定客のみの販売実績しかなかったが、都市部住民との交流を契機として、域外住民への販売が増え、売上げが飛躍的に増加した。</p>
実施状況(写真)	 <p>【写真】農業体験イベントの実施状況</p>
応募団体名	竹万(ちくま)あゆみ協議会、特定非営利活動法人地域再生研究センター
リンク	http://www.rireg.jp
部局/担当者名	特定非営利活動法人地域再生研究センター事務局 井原 友建
連絡先	TEL: 078-230-0220 E-mail: info@rire.jp
推薦市町村名	兵庫県上郡町